

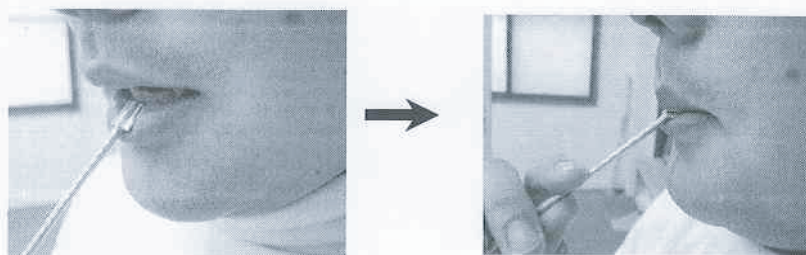
Brioは、啞えて、舌の位置に注意して息を吹き込むことで、リムに頼ることなく、口輪筋を鍛えると同時にアパチュアのコントロールに必要な上唇周辺の筋肉とそれを支える頬の引上げる筋肉のバランスが良くなるように考えました。

Brio の使い方

1. 平たい部分を上下の唇で挟み、初めは手で持って息を入れます。

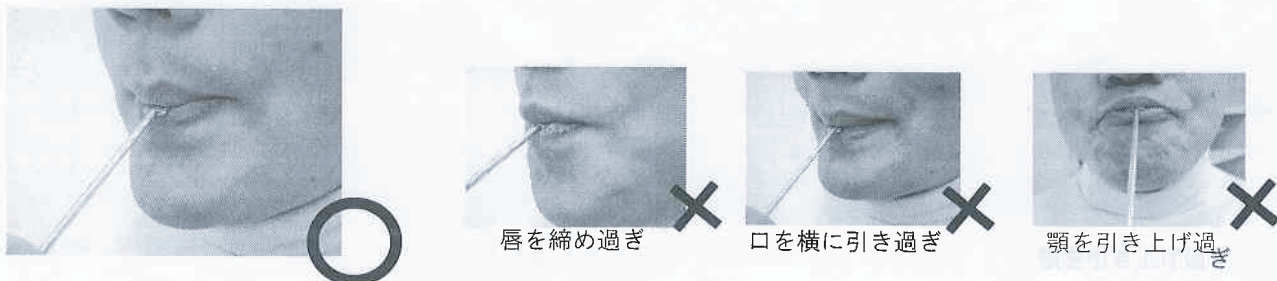
(上下の歯をしっかりと向かい合わせておきます。上下とも唇を巻き込まないように。

挟む深さは、平らな部分がほんの少し見えるくらいです。歯で噛まないようにしましょう。)



2 唇を閉じた状態で Brio にしっかりと息を吹き込みます。

(その際、唇と歯の間に空間が出来ないように気をつけ、楽器を吹く時と同じようにお腹で支えたしっかり息を入れましょう。)



ポイント：下あごの引きを注意しましょう。(極端に口を横に引き過ぎないように、反対に、顎を引き上げてしまい梅干しのような凹凸が顎にできないようにしましょう。写真参照)

※下唇の下とあごの先端の間の張りを意識すると周りの筋肉がそれに反応します。

吹き込む強さはm f くらいで試した後、f f また p p さらにクレッシェンドやデクレッシェンドなど変化をつけてみてください。筋肉の使われ方の違いが実感できると思います。

♪♪ リップバズィング

Brioに息を入れ、故意にBrioを外します。(プツと音が出ます。)この動作を何度か繰り返し、息の速度を上げてフーと外しても息を流すようにするとリップバズィングが自然とできるようになります。